

千葉県献血推進協議会における開催結果概要

1 日時

令和7年1月21日（火）午後2時から午後3時まで

2 場所

Web開催(Zoom)

3 出席委員

藤江委員（飯嶋委員代理）、今井委員、石井委員（吉田委員代理）、富岡委員（斎藤委員代理）、御園生委員、江野澤委員、長谷川委員、永富委員、太田委員、吉野委員、佐藤委員、吉岡委員、齊藤委員（井田委員代理）、青木委員（井崎委員、岩田委員代理）、杉戸委員（久保委員代理）、岡田委員

4 議事概要

■ 報告事項

（1）令和6年度献血状況について

（2）令和6年度血液製剤供給状況について

<質疑応答>

質疑なし

■ 協議事項

令和7年度千葉県献血推進計画（案）について

<質疑応答>

質疑なし

○協議事項については事務局案のとおり了承された。

■ その他

令和7年度千葉県赤十字血液センター献血受入計画について

<質疑応答>

（委員）

献血手帳及び献血カードを廃止しラブラッドアプリへ全面移行を行う旨の説明があったが、事業の効率化によるものか。廃止による協力者の減少が懸念される。

(事務局：千葉県赤十字血液センター)

献血カードの生産・更新を行う機械の製造が可能な企業がなくなるため、廃止する。

アプリをメインで推進しつつ、アプリの登録が難しい方への対応を検討し、対策を講じていきたい。

(委員)

県内の献血状況について、地域間格差の把握があれば教えてほしい。

また、私立高校で献血に協力いただいているが、県内の公立高校の協力状況はどうか。

(事務局：千葉県赤十字血液センター)

内部的に、各市町村の献血動向を常に追っている。工業団地がある地域は献血の協力者が多く、東京に近い地域に献血ルームが集中している等の格差があり、非常に悩ましいところではあるが、状況を確認しながら献血バスの配車を進めている。

医療機関の需要の問題で、千葉県内の現状の目標として、100名の献血者が赤血球の全血献血にご協力いただくとして、そのうち約97.5%には、400mL献血でご協力をお願いしている。200mL献血は、若年層のご協力によってある程度確保できており、献血バスの台数が限られているなか、若年層と一般の方とのバランスを考えながら、配車を進めている。

高校の献血に関しては、千葉県教育委員会の協力下で、各校に毎年アンケートを実施しており、献血のご協力や、献血セミナーの実施の可否を確認している。ご協力いただける学校には、積極的に献血バスの配車を行う。